

岡山大学経済学会大講演会

成長戦略としての規制緩和： 都市・農村・雇用・保育

大阪大学名誉教授、前政策研究大学院大学学長

八田達夫先生



日時 2013年6月12日(水)

午後4:00-5:40

会場 創立五十周年記念館

略歴：1943年東京都に生まれる。国際基督教大学（ICU）教養学部卒。1973年ジョンズ・ホプキンス大学経済学博士（Ph.D）。オハイオ州立大学助教授、ジョンズ・ホプキンス大学教授、大阪大学教授、東京大学教授、ICU教授、政策研究大学院大学学長などを経て、現在、大阪大学社会経済研究所招聘教授・経済同友会政策分析センター所長。専門は公共経済学。第42回日経・経済図書文化賞受賞（1999年）。八田先生の研究は広範囲に及びますが、特に、税制改革・年金改革・都市政策に関わる研究に大きな貢献があります。『消費税はやはりいらぬ』（東洋経済新報社、1994年）、『年金改革論—積立方式へ移行せよ—』（日本経済新聞社、1999年）、『電力システム改革をどう進めるか』（日本経済新聞出版社、2012年）などの著書があります。先生の業績は海外でも非常に高く評価されており、*American Economic Review*、*Econometrica*、*Review of Economic Studies* など、世界最高ランクに位置づけられる国際的学術雑誌に多数の論文を掲載されておられます。国内では2003年度に日本経済学会会長を務められるなど、わが国の公共経済研究において中核的な役割を果たされてきました。また、内閣府の総合規制改革会議委員、規制改革・民間開放推進会議委員、規制改革会議議長代理などの政府関係委員を務められ、制度改革や規制改革の方向づけなど、わが国の重要な政策課題に対して多大な社会的貢献を果たされています。